

令和6年度
接続期カリキュラム研究推進 山元地区 活動報告

子ども観を共有し、
育ちをつなげる接続期のカリキュラムづくり



令和5年度～令和7年度 接続期カリキュラム研究推進地区



令和5年度

とにかく、たくさん交流して
お互いを知ろう！



たくさん交流できただけど・・・ お互いの理解は深まってきたけど・・・
管理職と担当者だけのものになっている・・・

課題

そこで…令和6年度は…



- 職員みんなが接続期（架け橋期）について理解し、大切に考えるようにしよう。
- 引き続き、子ども間、職員間の交流を推進しよう。
- 小学校と園が協働し、架け橋期のカリを作成しよう。



交流のスタート

まずは、校長と園長、担任同士の顔合わせから

- ・今年度の目標→かけ橋期のカリキュラム作成
- ・おおまかな交流計画

園と学校の年間交流計画 を立てる

授業参観、授業研、運動会、公開保育など、管理職、職員同士がお互いの教育活動を参観し、子どもの様子や指導観を理解したり共有したりするために交流計画を立案

事 業 名	日 時	内 容
委員長・副委員長顔合わせ	4月5日	小学校校長の園訪問。
山元小学校入学式。	4月8日	竹之丸保育園長参会。
スタートカリ公開。	4月15日	スタカリの校内公開。竹之丸年長担任参観。
小学校1年授業参観。	5月10日	保育園参観。
推進委員会。	5月で調整中	今年度の活動計画他。
小学校生活科授業研究。	5月17日	保育園参観。
小学校運動会。	5月25日	保育園参観。
小学校生活科授業研究。	6月14日	保育園参観。
公開保育。	日程調整中	午前中 竹之丸保育園で実施。
園児・児童交流活動。	日程調整中	小学校、保育園、地域での交流活動(年間複数回予定)
小学校生活科授業研究。	7月5日	保育園参観。
幼保小合同研修会。	7月24日	接続カリキュラムについての研修および講演会。
推進委員会。		目指す子ども像、カリキュラム作成他。
保育園運動会。	10月5日	小学校参観。
小学校研究発表会。	11月9日	保育園参観。
公開保育。	日程調整中	小学校参観。
新入生保護者説明会。	2月14日	はじめましての会(園児学校体験)。
推進委員会。	2月で調整中	今年度のまとめ、カリキュラム作成他。

ワクワク入学式



昨年まで、ちょっと固かった入学式。今年度は
1年生が「わくわく」できるものにしたい！

2年生応援団

今まで、2年生の呼びかけと校歌紹介でしたが、今年度は1年生を囲んでの応援団風ダンスを行いました。

学校のキャラクター「やまもるくん」登場

「やまもるくん」がステージから1年生へメッセージ。
6年生が着ぐるみを着て「やまもるくん」になりました。



校長の話から学校探検へ



「こんな部屋があるよ」の最後に
「カエルがいる部屋があるよ」と紹介。
翌日から校内カエル探し探検が始まりました。
カエルの居場所は校長室。



スタートカリキュラム校内公開(4月15日)



スタカリのことを先生方に理解してもらうため、一日授業を公開します！

1年担任

なかよしタイム



学校探検



山元小学校接続期カリキュラム授業参観資料

1. スタートカリキュラムで育てたい子どもの姿

- 安心して自分を差違いやってみたいことに向かってがんばる子ども
- 新しい学級や学校のルールを受け入れ、学級の一員として協調的に活動できる子ども
- 幼児期の学びを生かして、自己肯定感を高め、主体的に学習に取り組む子ども

2. 接続期カリキュラム授業目標の目的

- 校内外先生方に「一年生のスタートカリキュラムとは？」について知ってもらう。
- 育てたい子どもの姿に向かうための環境設定、手立てを検討し、明日からの子どもの学びに活かす。
- 子どもたちの姿からこれまでの学びの土台を見取り、学びの履歴を自分の学年の子どもたちの学習にかかずという意識をもつ。

3. 一日の流れ

4月 15 日(月)【第6日目】

時間	○子どもの活動	☆手立て ★留意点
8:00	○登校	☆好きな遊びを座敷し、行うことができる場をホールに設定する。 ●前の方で終わらせる好きな遊びをして準備する。(なかよしタイム)
8:25	○AETの先生の紹介をテレビで見る。	☆見て分かる。できるにつなげられるように、観る場所、片付け方等を場所ごとに掲示しておく。
8:30	○「キドキの一年生を歌って楽しむ。	☆元気な歌でいることや、みんなの声が合わさって素敵な歌になっていることを絶賛する。
8:40	○今日のなかよし先生はてなふ相談して今日解説することを決める。	☆相談を用意しておく。 ●ピンク：楽しみ、やってみたい。 ●青：どうしたらしいのか。 ●黄：解決策
8:55	○挨拶、健康観察。	☆状況によって、その場ですぐに解決できそうなことはみんなで話し合う時間を設ける。
9:05	○体育着に着替える。	☆自分で自分の静けさを自覚できるよう、掌手をするう事。
9:15	○計測。	☆下校コース別に色のシールをわざわざつけておき、(入浴式まで)
9:40	○かえるがどこにいるか、予想する。	☆どの方が多いのか、△の算数の学習問題に答がよく、好きな動物を答えてもらう。
9:50	○探検の約束を考える。	☆前の流れの見通しをもてる様に、班冊を順番に黒板に貼る。

- 学校探検に由かける。
- かえるは見つけられなかったよ。
- 図書室があったよ。

- 10:10 ○教室に戻って、見分けた物や気になったことを伝え合う。
- 図書室を見つけられたけど、入れなかっただよ。どうしたらいいのかな。

- 10:30 ○自由遊び、トイレ水飲み。

- 10:50 ○なかよしくりとかず。
●さきとタシパリンはタンパリンの方が多い。
●縄を引くと分かれやすいね。
●ブロックを並べても分かるよ。
●子どもたちの興味の持む方によって、園工の「ちよさちよさかさり」に変わるかもしれません！

- 11:40 ○今週の自分の給食の仕事を確認する。

- 11:48 ○山登り。

- 12:05 ○いただきます。

- 12:40 ○ごちそうさまでした。

- 13:15 ○トイレ、水飲み。

- 13:20 ○朝の支援。

☆かえるを見付ける以外にも、子どもが注目しているものや気になっている場所があつたら声かけをする。

☆探検中の写真を撮っておき、適宜テレビで示す。
☆次回探検に行ってみたい場所を短冊に残す。
☆短冊ごとに整理して板書する。

★行動観察。
友達との接し方。
やってみたい遊びを見つけられるか。
自分が声をかけられるか。
誰と遊んでいるか。

☆手元の教科書と同じじめで考えられるように、教科書の大括弧表示を用意しておく。
☆隣でいる子に適宜ブロックを渡し、その解決法を全体で共有する。

☆全曜日に同じ当番だった子がやり方やコツを教えてあげる時間を設ける。
☆会議時に捉えることができるよう、金曜日に使用したものと同じ提示を黒板に示して確認する。

★給食食事指導、教室移動指導に分かれる。

★行動観察。
食べる速度、食器の持立ち方、姿勢、好き嫌いの表情。
☆楽しく美味しく食べている児童や音手だけ頬張っている児童を価値づける。

☆持ち帰る物を掲示しておく。

☆新人教員みたいが出たる、短冊にためておく。
☆下校別方面の色のカードを用意しておく。

*子どもの興味の持む方を様子によって、活動内容や時間が大きく変更する場合があります。

放課後に全職員で研修会

講師：こども青少年局保育・教育支援課 武山朋子先生

☆子どもたちの素敵な姿

園での経験（サークルトーク）→テレビ朝会をみんなで円になって視聴

主体性の發揮→カエル探し 「きっと○○にいる」「グループになって探そう！」

○スタカリで大切にしたいこと

安心
楽しさ

主体性を
うばわない

園での経験（できる
こと）を生かして

やってみたい！

できることの把握

誰かの発信→みんなで挑戦

夏季校内スタカリ・架け橋理解研修(7月24日)

講師 認定こども園ゆうゆうのもり幼稚園
港北幼稚園
園長 渡邊 英則先生

※区内幼保小も対象に

子どもは安心できると挑戦する→園も学校も子どもがにこにこして過ごせる場所に
乳幼児期→遊ぶ力が大事 遊びの中で非認知能力が育つ

(やりぬく力 感情のコントロール コミュニケーション能力等)

友達と意見をぶつけ合いながら子どもが自分で解決→子どもの主体性を育む
教わること=考えないこと 自分で考える、自分で行動する 外発的動機付けでは育たない

大人はどうしり構え、子どもが求めてきた時に情緒的に利用可能な存在であればよい

(必要されていないときは、あえて子どもの活動に踏み込まない)

子どもの声によってプランを変えていく

子どもを真ん中に考えて、安心できる
環境の中で主体性を發揮できるように

幼保園からの声を小学校職員が共有

①期待する1年生の姿

- ・明日を楽しみに生活できる。
- ・毎日「学校へ行きたい」と思う。
- ・「学校が大好き」「先生が大好き」
- ・好きなことをたくさんもてる。
- ・新たな発見をうれしそうに報告する。
- ・園の姿同様に主体的を發揮できる。
- ・自分の思いを表現できる。
- ・自分たちで考えて行動する。
- ・失敗を恐れずあきらめない。
- ・園の育ちを發揮する、生かしてがんばる。
- ・自信をもって自分たちの力でがんばる。
- ・困ったときは、周りに尋ねることができる。

②小学校へ望むこと

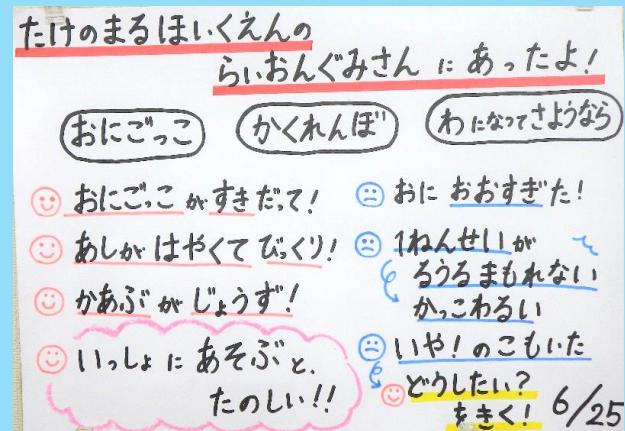
- ・小学校が安心できる場所、自分らしさを發揮できる場所であってほしい。
- ・結果ではなく、過程を評価してほしい。
- ・子ども一人ひとりが思いを伝えられる場や時間があってほしい。
- ・子どもの様子をよく見取る。
一人ひとりの話をよく聞く。
- ・子どもが自分で考え主体性を發揮できるように待つ姿勢を大切にしてほしい。
- ・自力解決に向けて見守ることも大切にしてほしい。
- ・できること、できたことを認めてほしい。

年長児と1年児童の交流

○出会い



担任間で打合せをし、根岸森林公園で偶然出会う計画に…。
(1年生は生活科、保育園はお散歩の時間)



1年生の振り返りから、園児へお手紙を送ることに…



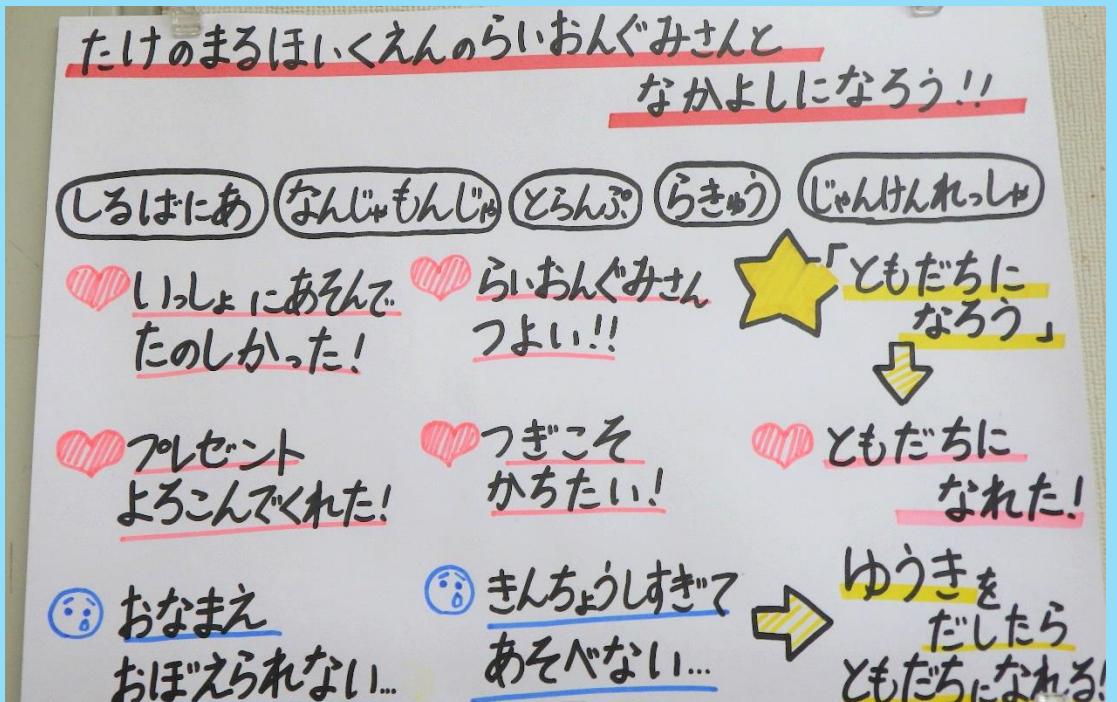
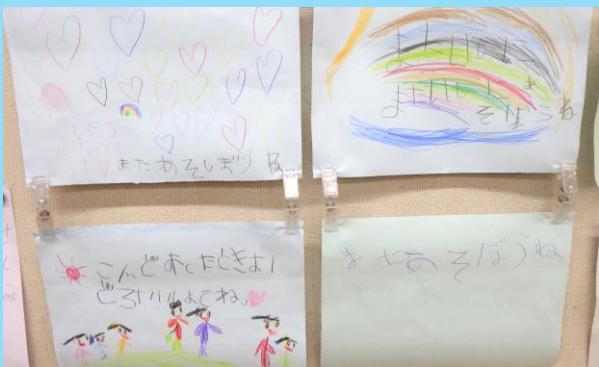
また会いたいな。
遊びたいな。

○保育園訪問

園児へたちからも、「また遊ぼうね」のお手紙が…

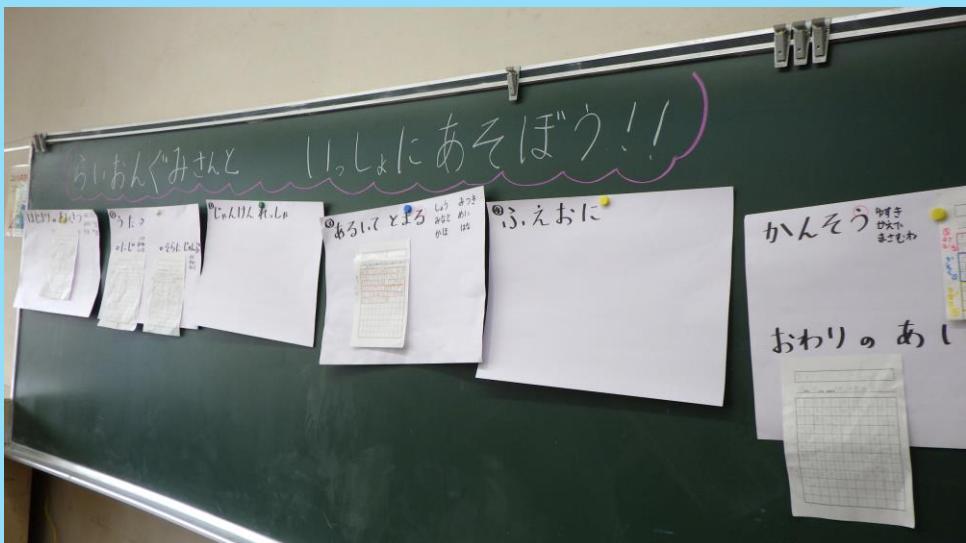


1年生たちの「また遊びたい」との願いから、保育園を訪問することに



○園児を小学校へ招待

保育園訪問のお礼に、今度は年長児を学校にご招待



今度は生活科の秋遊びと一緒に
したいな

子どもたちが自分たちでつないでいく交流

○小学校と一緒に秋遊び

1年生が生活科でつくり出した「秋遊び」を園児と一緒に楽しむ



冬遊びも一緒にしようね

○他の保育園にも広がる交流



「山小に入学する子どもがいる他の保育園の子どもたちも秋遊びに招待したい」

という1年生たちの願いから交流が広がりました。



本校の畠で獲れたサツマイモを使った焼き芋パーティーや冬遊び、学校紹介などの活動を通して、竹之丸保育園だけではなく、近隣の保育園とも交流を進めました。

○小学校紹介+みんな遊び

学校の事情で「冬遊び」ができないことになり、どうするかを1年生たちが考え、企画した交流



○はじめましての会

入学説明会の日に、就学予定の園児が集まって一緒に活動



小学校教師の読み聞かせやじゃんけん列車などのゲーム、折り紙などを「はじめまして」の園児たちが楽しみました。

新しい仲間との出会いにワクワク、ドキドキ。
笑顔をいっぱい見ることができました。

【今年度の成果と課題】

	成果	課題
保育園	<ul style="list-style-type: none">・小学校という初めての場所への緊張が、継続的な交流を重ねていくことで緩和され、就学への期待と小学校への安心につながった。・精神的にも、体格的にも近しい1年生と関わりをもつことで、園児も安心して、積極的に交流を楽しむことができた。	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが期待感をもって小学校へ上がることができるよう、アプローチカリキュラムの活用や幼保小の架け橋期の考え方等について、職場全体に共有していく。
小学校	<ul style="list-style-type: none">・昨年度からの積み重ねによるスタカリをはじめとした取組が、児童の「安心」した学校生活につながった。・保育園との継続的な交流により、1年児童の主体性、協働性、自己肯定感が高まっている。・スタカリや架け橋プログラムへの理解が昨年度よりも深まり、そのよさを認識している職員が多くなった。	<ul style="list-style-type: none">・子どもが安心して主体性を発揮できる学校であるように、子どもの育ちをつなげるスタカリの考え方に基づく学年経営、学級経営が行われるよう、職員の理解をさらに深めながら、学校経営を行っていく。